

令和5年度 茨木市地区保健福祉センター自己評価表

【評価日 R6年 11月 7日】

評価の尺度：【3点】取り組むことができた 【2点】概ね取り組むことができた 【1点】やや取り組むことができなかった 【0点】取り組むことができなかった

評価項目		東	西	南	中央		平均
		自己評価	自己評価	自己評価	自己評価		自己評価
Ⅰ、専門相談支援機能							
①	包括的な相談の受け止めができていますか。	3	3	3	3		3.0
②	対応が困難な事案や課題の全体像を把握した上で、支援機関の役割分担ができていますか。	3	3	3	3		3.0
③	本人や世帯を取り巻く支援機関と協働できていますか。	3	3	3	3		3.0
④	本人や世帯を取り巻く地域の関係者（民生委員等）や地域住民と協働できていますか。	3	3	3	2		2.8
⑤	本人や世帯を取り巻く地域の関係者（民生委員等）や地域住民に意識の変化が見られたか。	3	1	2	3		2.3
⑥	支援機関へのバックアップができていたか。	3	3	2	2		2.5
⑦	地域住民や団体へのバックアップができていたか。	3	3	3	3		3.0
⑧	地域の様々な活動や機関と連携・協力ができていたか。	2	2	2	2		2.0
平均		2.9	2.6	2.6	2.6		2.7
Ⅱ、保健機能							
①	地域診断や保有データ活用に基づくPDCAサイクルの実施ができていたか。	3	3	3	3		3.0
②	個人や家族の課題解決のための支援及び予防的介入ができていたか。	3	3	3	3		3.0
③	個別課題から地域課題への視点をもって、活動の展開ができていたか。	3	3	3	3		3.0
④	自然に健康になれる環境づくりができていますか。	3	3	2	2		2.5
平均		3.0	3.0	2.8	2.8		2.9
Ⅲ、地域づくり機能							
①	地域の主要な団体（地域協議会・自治会・福祉委員会等）の活動の場に参加できたか。	3	3	3	3		3.0
②	住民活動の場等において、地域資源を把握し、課題、希望等を聞取ることができたか。	1	3	2	2		2.0
③	圏域の課題を住民と共有し検討を行い協議できたか。	3	2	1	1		1.8
④	地域の機関等と連携できたか。	2	2	2	2		2.0
平均		2.3	2.5	2.0	2.0		2.2
Ⅳ、多機関協働事業							
①	会議を通じて、課題を発見・予見できる体制を整えているか ※個別事例、地域の潜在する問題等	3	2	3	3		2.8
②	会議において、現状の把握、共有できているか	3	3	3	3		3.0
③	会議において、課題（解決を妨げる要因を含む）の整理、共有できているか	3	3	3	3		3.0
④	会議において、支援の方針・方法を明確にして、共有できているか	3	3	3	3		3.0
⑤	会議において、各機関の役割分担ができていますか	3	2	3	2		2.5
⑥	継続的な支援が必要な場合、状況に応じて会議の開催を行なっているか	3	2	2	2		2.3
平均		3.0	2.5	2.8	2.7		2.8